

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 インストール ガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 について.....	4
章 2: システム要件.....	6
管理システムのシステム要件.....	6
管理対象システムのシステム要件.....	6
章 3: Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 のダウンロードとインストール.....	8
章 4: Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 へのアップグレード.....	10
章 5: Nagios Core 向け Dell EMC Plug-in バージョン 2.1 のアンインストール.....	12
章 6: Dell EMC サポート サイトからのサポート コンテンツへのアクセス.....	13
章 7: 関連マニュアル.....	14

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 について

本ガイドでは、Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 のソフトウェア要件、システム要件、インストール手順、アップグレード手順、アンインストール手順について説明します。

このプラグインには、Nagios Core によって管理される環境で Dell EMC デバイスを監視する機能があります。全体およびコンポーネントレベルの正常性の監視など、Dell EMC デバイスをハードウェアレベルで完全に可視化できます。また、このプラグインは Dell EMC デバイスの基本的なインベントリ情報とイベント監視を提供します。対応する Dell EMC デバイスの 1 対 1 Web コンソールの起動もサポートしており、詳細なトラブルシューティング、設定、各種管理アクティビティを実施できます。

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 は、次の Dell EMC デバイスをサポートしています。

- Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) with Lifecycle Controller (LC) を使用したエージェントフリーメソッドを介した第 12 世代以降の PowerEdge サーバ
- データセンタースケーラブルソリューション (DSS)
- ハイパーコンバージド インフラストラクチャ (HCI) プラットフォーム - Dell EMC VxRail™、Dell EMC XC Series
- PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、PowerEdge VRTX シャーシ、PowerEdge M1000e シャーシ
- EqualLogic PS-Series ストレージ アレイ、PowerVault MD 34/38 Series ストレージ アレイ、Compellent ストレージ アレイ

デバイス サポートの詳細については、『Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズ ガイド』の「サポート マトリックス」を参照してください。

表 1. 主な機能

特長	機能
デバイス検出	Dell EMC デバイスを検出します。検出が完了すると、デバイスごとにホスト定義とサービス定義が作成されます。 Lifecycle Controller 搭載 iDRAC を介して Dell EMC サーバを検出するには、SNMP または WSMAN プロトコルのいずれかを選択することができます。ただし、Dell EMC ストレージは SNMP プロトコルを使用して検出され、Dell EMC シャーシは WSMAN プロトコルを使用して検出されます。
デバイス情報	デバイスの検出完了後、サービスタグ、ファームウェアバージョン、デバイス名、デバイスモデルなど、検出されたデバイスに関する情報を表示します。この情報は、Nagios Core コンソールの [ホスト] または [サービス] ビューで表示できます。 デバイス サービスとその説明については、『Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズ ガイド』の「 デバイス情報 」を参照してください。
Dell EMC デバイスの全体的な正常性の監視	Dell EMC デバイスの全体的な正常性を監視します。
Dell EMC デバイスのコンポーネントレベルの正常性	Dell EMC デバイスのコンポーネント (物理ディスク、電源装置、温度プローブ、電圧プローブなど) の正常性を監視し、各コンポーネントに関する情報を表示します。 Dell EMC デバイスのコンポーネント レベルの正常性とその説明については、『Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズ ガイド』の「 Dell EMC デバイスのコンポーネント正常性の監視 」を参照してください。
SNMP アラートの監視	Dell EMC デバイスの SNMP アラートを監視します。この機能が表示するのは、最後に受信した SNMP アラートのみです。 受信したすべての SNMP アラートを表示するには、Nagios Core コンソールで [レポート] > [アラート] > [履歴] の順に移動します。 それぞれのアラートを迅速にトラブルシューティングするために、SNMP アラートに対応した、サポートされている Dell EMC デバイスのアラート ナレッジベース (KB) 情報を表示することもできます。

表 1. 主な機能 (続き)

特長	機能
	詳細については、『Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド』の「生成されたアラートのナレッジベース (KB) メッセージ」を参照してください。
Dell EMC デバイス固有コンソールの起動	サポートされている Dell EMC デバイスのトラブルシューティングと管理をさらに 行うため、それぞれの Dell EMC 1 対 1 コンソールを起動します。
保証に関する情報	サポートされている Dell EMC デバイスの保証情報を監視および表示します。詳細 については、『Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズ ガイド』の「Dell EMC デバイスの保証情報」を参照してください。

このプラグインは、Nagios Core のバージョン 3.5.0 以降をサポートします。

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 をインストールする前に、[Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://www.dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement) または [Dell.com/openmanagemanuals](https://www.dell.com/openmanagemanuals) から最新のマニュアルをダウンロードして、この製品に関する最新情報を得てください。

システム要件

プラグインのインストールを行う前に、使用しているプロトコルに応じて、次の要件を満たしていることを確認してください。

共通の前提条件：

- Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされており、すべての Nagios Core コンポーネントが機能している。
- Perl バージョン 5.8.8 以降がインストールされている。
- Net-IP Perl モジュールバージョン 1.26 以降がインストールされている。
- (オプション) Dell EMC 保証情報を表示するために、Java バージョン 1.6 以降がインストールされている。
- (オプション) インターネット プロトコル バージョン 6 (IPv6) を使用した管理下システムの監視のために、Socket6 Perl モジュールバージョン 0.27 以降がインストールされている。
- (オプション) SNMP アラートを受信するには、SNMP Trap Translator (SNMPTT) バージョン 1.3 以降がインストールされていること。最新バージョンを使用することが推奨されます。
- (オプション) 次のような Dell シャーシのコンポーネント属性情報を監視するために、サポートされている Remote RACADM ユーティリティーがインストールされている。
 - [Dell EMC シャーシ ファン ステータス] の [速度 (RPM)]。
 - [Dell EMC シャーシ電源装置ステータス] の [入力電流 (A)]。
 - [Dell EMC シャーシ電源装置ステータス] の [入力電圧 (V)]。
 - [Dell EMC シャーシ電源装置ステータス] の [出力電力 (W)]。
 - [Dell EMC シャーシ I/O モジュール ステータス] の [ステータス]。

サポートされている Remote RACADM ユーティリティーのダウンロードとインストールの詳細については、en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/3205.racadm-command-line-interface-for-drac にアクセスしてください。

SNMP を使用する場合：

Net-SNMP Perl モジュールのバージョン 6.0.1 以降がインストールされている。

WSMan を使用する場合：

OpenWSMAN とその Perl バインディングがインストールされている。

メモ: iDRAC デバイスを検出するには、必要に応じて SNMP または WSMan プロトコルのいずれかを選択できます。ただし、Dell ストレージは SNMP プロトコルを使用して検出され、Dell シャーシは WSMan プロトコルを使用して検出されます。

トピック：

- [管理システムのシステム要件](#)
- [管理対象システムのシステム要件](#)

管理システムのシステム要件

管理システムの要件は、次のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.3 および RHEL 6.9 (64 ビット)
- Ubuntu 16.04.2 Server (64 ビット)

対応バージョンの RHEL および Ubuntu ゲストオペレーティングシステムをホストする ESXi ハイパーバイザーもサポートされています。

管理対象システムのシステム要件

管理下システムの必要条件は、次のとおりです。

表 2. Dell EMC デバイス用の対応ファームウェアバージョン

Dell EMC デバイス	ファームウェア	対応ファームウェアバージョン
第 12 世代 PowerEdge サーバー	iDRAC7	2.41.40.40 および 2.40.40.40
第 13 世代 PowerEdge サーバー	iDRAC8	2.41.40.40 および 2.40.40.40
第 14 世代 PowerEdge サーバ	iDRAC9	3.00.00.00
データセンタースケーラブルソリューション	iDRAC8	2.41.40.40 および 2.40.40.40
HCI プラットフォーム	iDRAC8	2.41.40.40 および 2.40.40.40
PowerEdge M1000e シャーシ	CMC	5.22 および 5.21
PowerEdge VRTX シャーシ	CMC	2.23 および 2.22
PowerEdge FX2/FX2s シャーシ	CMC	1.42 および 1.41
Compellent ストレージアレイ	該当なし	7.1.12 および 6.7.40
EqualLogic PS-Series ストレージアレイ	該当なし	9.1.2 および 9.1.1
PowerVault MD 34/38 シリーズストレージアレイ	該当なし	08.25.11.60 および 08.25.09.61

- SNMP を使用する場合は、それぞれのデバイスに SNMP が設定されていることを確認してください。
Nagios Core コンソールで SNMP トラップを受信する場合は、それぞれのデバイスに SNMP トラップ送信先を設定してください。
詳細については、dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement にある『Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド』の「付録」を参照してください。
- WSMAN プロトコルを使用する場合は、デフォルトのサービスアカウントではなく、WSMAN サービスアカウントの使用が推奨されます。詳細については、Dell.com/esmmanuals にある各デバイスのユーザーズガイドの「ユーザーアカウントと権限の設定」を参照してください。

対応プラットフォームのリストについては、『Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド』の「サポートマトリックス」を参照してください。

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 のダウンロードとインストール

1. Dell EMC サポート Web サイト (Dell.com/support) または Nagios Exchange (exchange.nagios.org/) から、最新の Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 インストーラーをダウンロードします。
インストーラーは、[Dell EMC OpenManage Plugin_v2.1_Nagios_Core_A00.tar.gz] という名前の .tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。
2. ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。

```
tar -zxvf Dell EMC OpenManage Plugin_v2.1_Nagios_Core_A00.tar.gz
```


次のフォルダとファイルが解凍されます。
 - Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
 - Dell EMC OM Plugin_2_1_For_NagiosCore_IG.pdf ファイル
 - Dell EMC OM Plugin_2_1_For_NagiosCore_ReadMe.txt ファイル
 - license_en.txt ファイル
3. Dell_OpenManage_Plugin/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラーを起動します。

```
./install.sh
```
4. お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は [Y] を押します。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。
[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。
5. インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して [Enter] を押します。
または、デフォルトの場所である /usr/local/nagios のまま、[Enter] を押して続行することもできます。
入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。
前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。
① メモ: Net-IP または Net-SNMP と Openwsman の両方がシステムにインストールされていない場合、インストール処理は終了します。前提条件を満たしていることを確認してから、再度インストール処理を開始します。
その他の前提条件が満たされていない場合は、インストール手順が適切なメッセージを表示し、インストールが続行されます。
6. **エンドユーザー ライセンス契約**に同意する場合は [Y] を押し、同意しない場合はその他の任意のキーを押してインストールを終了します。
[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。
7. [Y] キーを押して [escape_html_tags] 属性を [0] に設定、または [N] を押してデフォルト設定 [1] で続行します。
[Enter] を押して、デフォルト値 (N) で続行することも可能です。
① メモ: Dell EMC プラグインの異なるインスタンスやエンティティを区別できるよう、マルチラインビューで読みやすくするため、[escape_html_tags] 属性を [0] に設定してインストールを続行することをお勧めします。
8. SNMPPTT をインストールした場合、SNMPPTT がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。
または、デフォルトのファイルパスである /etc/snmp/snmpptt.ini のまま、[Enter] を押して続行することもできます。
SNMPPTT が未インストールでこの手順をスキップする場合は、[Enter] を押します。
① メモ: このプラグインのインストール中には SNMPPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信したくなったという場合は、次の手順を実行します。
 - SNMPPTT をインストールします。
 - <NAGIOS_HOME>/dell/install に移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh trap
```

<NAGIOS_HOME> が Nagios Core のインストール先の場所であり、デフォルトでは<NAGIOS_HOME>の場所は /usr/local/nagios です。

9. RACADM をインストールした場合、RACADM がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、デフォルトのファイルパスである /opt/dell/srvadmin/sbin/racadm のまま、[Enter] を押して続行することもできます。RACADM がインストールされておらず、この手順をスキップする場合は、[Enter] を押します。

i **メモ:** このプラグインのインストール中には RACADM をインストールしなかったが、後で RACADM を統合したくなったという場合は、次の手順を実行します。

- RACADM をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install に移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh racadm
```

<NAGIOS_HOME> が Nagios Core のインストール先の場所であり、デフォルトでは<NAGIOS_HOME>の場所は /usr/local/nagios です。

10. Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、デフォルトのファイルパスである /usr/bin/java のまま、[Enter] を押して続行することもできます。

i **メモ:** このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしたくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install に移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh java
```

<NAGIOS_HOME> が Nagios Core のインストール先の場所であり、デフォルトでは<NAGIOS_HOME>の場所は /usr/local/nagios です。

これで、プラグインがインストールされました。

11. Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してください。

12. SNMPPTT がインストールされており、SNMPPTT 設定のエントリを検証する場合は、SNMPPTT のインストール先のパスに移動して、snmpptt.ini ファイルのセクション [TrapFiles] の下に次のエントリが存在していることを確認します。

- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf

13. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。

```
service nagios restart
```

14. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。

```
service snmpptt restart
```

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 へのアップグレード

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 1.0 または 2.0 から Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Dell EMC サポートサイト (Dell.com/support) または Nagios Exchange (exchange.nagios.org/) から、最新の Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 インストーラをダウンロードします。

インストーラは、[Dell_EMCM_OpenManage_Plugin_v2.1_Nagios_Core_A00.tar.gz] という名前の .tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。

2. ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。

```
tar -zxvf Dell_EMCM_OpenManage_Plugin_v2.1_Nagios_Core_A00.tar.gz
```

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell_EMCM_OM_Plugin_2_1_For_NagiosCore_IG.pdf ファイル
- Dell_EMCM_OM_Plugin_2_1_For_NagiosCore_ReadMe.txt ファイル
- license_en.txt ファイル

3. Dell_OpenManage_Plugin/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。

```
./install.sh
```

4. お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は [Y] を押します。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。

[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

5. インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して [Enter] を押します。

または、[Enter] を押して、デフォルト場所である /usr/local/nagios を使用して続行することもできます。

入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。

前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。

① メモ: Net-IP、または Net-SNMP と Openwsman がシステムにインストールされていない場合、インストール処理は終了します。前提条件が満たされていることを確認してから、インストール処理を再度開始してください。

その他の前提条件が満たされていない場合は、インストール手順が適切なメッセージを表示し、インストールが続行されます。

6. Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 へのアップグレードを確認するプロンプトが表示されたら、[Y] を押します。[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

アップグレードしない場合は、他の任意のキーを押してインストールプロセスを終了します。

7. **ライセンス契約** に同意する場合は [Y] を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。

[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

8. SNMPPTT をインストールした場合、SNMPPTT がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または [Enter] キーを押してデフォルトのファイルのパス /etc/snmp/snmpptt.ini で続行することもできます。SNMPPTT が未インストールでこの手順をスキップする場合は、[Enter] を押します。

① メモ: このプラグインのインストール中には SNMPPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信したくなったという場合は、次の手順を実行します。

- SNMPPTT をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh trap
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

9. RACADM をインストールした場合、RACADM がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、[Enter] を押して、デフォルトのファイルパスである /opt/dell/srvadmin/sbin/racadm を使用して続行することもできます。RACADM が未インストールでこの手順をスキップする場合は、[Enter] を押します。

① メモ: このプラグインのインストール中には RACADM をインストールしなかったが、後で RACADM を統合したくなったという場合は、次の手順を実行します。

- RACADM をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh racadm
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

10. Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、[Enter] を押して、デフォルトのファイルパスである /usr/bin/java を使用して続行することもできます。

① メモ: このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしたくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh java
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

これで、プラグインがインストールされました。

11. Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してください。

12. SNMPPTT をインストールしており、SNMPPTT 設定エントリを検証したいという場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動して、snmpptt.ini ファイル内でセクション [TrapFiles] の下に次のエントリが存在していることを確認します。

- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf

13. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。

```
service nagios restart
```

14. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。

```
service snmpptt restart
```

Nagios Core 向け Dell EMC Plug-in バージョン 2.1 のアンインストール

1. <NAGIOS_HOME>/dell/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
`./uninstall.sh`
2. アンインストールしてよいかを確認するメッセージが表示されたら、[Y] を押してアンインストールするか、[N] を押してアンインストール処理を終了します。
または、[Enter] を押して、アンインストールを終了することもできます。
3. アンインストール処理を続行するためのプロンプトが表示されたら、[Y] を押して続行するか、[N] を押してアンインストール処理を終了します。
または、[Enter] を押して終了することもできます。

メモ: インストール中に [escape_html_tags] 属性の値を「0」に設定した場合は、<NAGIOS_HOME>/etc/cgi.cfg ファイルに移動してこの値を編集することにより、この値をデフォルト値である「1」にリセットすることができます。

これで、プラグインがアンインストールされました。

4. Dell EMC OpenManage Plug-in がアンインストールされたことを検証するには、<NAGIOS_HOME> フォルダに移動して、dell フォルダが削除されていることを確認します。
5. Nagios Core の設定エントリを確認するには、Nagios Core がインストールされているパスに移動し、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してください。

6. SNMPPTT をインストールしている場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動し、snmpptt.ini ファイルの [TrapFiles] セクションから次のエントリが削除されていることを確認します。
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf
7. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。
`service nagios restart`
8. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。
`service snmpptt restart`

Dell EMC サポート サイトからのサポート コンテンツへのアクセス

直接リンクを使用して Dell EMC サポート サイトに移動するか、検索エンジンを使用して、一連のシステム管理ツールに関連するサポート コンテンツにアクセスします。

- 直接リンク：
 - Dell EMC エンタープライズ システム管理および Dell EMC リモート エンタープライズ システム管理：<https://www.dell.com/esmmanuals>
 - Dell EMC 仮想化ソリューション：<https://www.dell.com/SoftwareManuals>
 - Dell EMC OpenManage：<https://www.dell.com/openmanagemanuals>
 - iDRAC：<https://www.dell.com/idracmanuals>
 - Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズ システム管理：<https://www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement>
 - Dell EMC Serviceability Tools：<https://www.dell.com/serviceabilitytools>
- Dell EMC サポート サイト：
 1. <https://www.dell.com/support> にアクセスします。
 2. [すべての製品の参照] をクリックします。
 3. [すべての製品] ページで [ソフトウェア] をクリックして、次に必要なリンクをクリックします。
 4. 必要な製品をクリックして、必要なバージョンをクリックします。

検索エンジンを使用する場合は、検索ボックスにドキュメントの名前とバージョンを入力します。

関連マニュアル

このガイド以外にも、Dell サポート Web サイト (Dell.com/support/manuals) で次のガイドを入手できます。マニュアル ページで **ソフトウェアおよびセキュリティ** をクリックし、適切な製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

- *Integrated Dell Remote Access Controller 9 (iDRAC9)* バージョン 3.00.00.00 ユーザーズ ガイド
- *Dell XC Series ハイパーコンバージド アプライアンスの各種マニュアル*
- *Dell EMC VxRail アプライアンス シリーズの各種マニュアル*
- *Lifecycle Controller 搭載 Integrated Dell Remote Access Controller 8 ユーザーズ ガイド*
- *Dell Integrated Remote Access Controller 7 ユーザーズガイド*
- *Dell PowerEdge M1000e 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズ ガイド*
- *Dell PowerEdge VRTX 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズ ガイド*
- *Dell PowerEdge FX2/FX2s 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズ ガイド*
- *Dell Compellent ストレージアレイユーザーズガイド*
- *Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイユーザーズガイド*
- *Dell PowerVault MD ストレージアレイユーザーズガイド*

www.nagios.org/documentation で、Nagios XI 関連のマニュアルも参照してください。